

同窓会役員会（８月２６日（木）） 校長挨拶

地域の皆様に愛され、支えられ、７０有余年の歴史を刻む
遠野高校という学校名を掲げることも、あと７か月。

来年３月からは、湯本高校と統合し、いわき湯本高校となり、
２年間、ここ遠野の学び舎はいわき湯本高校遠野校舎として継続し、
令和６年３月に幕を閉じます。

学校としては、遠野高校の幕を閉じる準備をしながら、
いわき湯本高校という新しい学校の幕開けの準備しております。
その奮闘努力については、学校ホームページをご覧ください。

学校を閉じていくに当たって、
卒業生をまとめる同窓会として取り組むべきことは何か。
これまでの議論の中で、
記念誌、閉校式、お別れ会などの取り組みが示されております。

これまでの議論の積み重ねを踏まえ、同窓会として、
さまざまな問いに答えていく必要があるのではないのでしょうか。

来年３月に予定している閉校式、お別れ会はどうあるべきか。
遠野高校のこれまでの歩みをまとめる記念誌はどうあるべきか。

１０月に予定している最後の公開文化祭にどう関わるべきか。
最後の卒業式に合わせて発行する同窓会報はどうあるべきか。

来年３月に最後の卒業生を送り出した後、同窓会はどうあるべきか。

以上の問いについて、学校としては、
遠野高校からいわき湯本高校に「つながる・つなげる」という方向性で
同窓会の皆様の思いをしっかりと受け止めながら、
皆様と一緒に考えてまいります。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。